

今月の特集

2

症例から学ぶ フローサイトメトリー検査の読み方

フローサイトメトリー (flow cytometry : FCM) を用いた血液細胞抗原分析 (immunophenotyping : IPT) は、現在では造血器腫瘍の診断に必要不可欠な検査です。特にリンパ球系腫瘍において、B 細胞性か、T/NK 細胞性を診断する際は、決定的な役割を果たします。しかし、FCM を用いた IPT の結果を評価するには、専門的な知識と経験がある程度必要であり、血液学検査の従事者でも苦手意識をもっていることがあります。そこで今回、実際の症例を提示して、その解析・評価法の考え方を解説してもらうことを企画しました。

本特集では、急性白血病を中心に、代表的な造血器腫瘍について、症例提示による結果の読み方が解説されています。また、FCM による IPT の総論的解説もあります。本特集を読んで FCM による IPT を疑似体験していただき、多くの方に本検査に対する理解と興味を深めてもらいたいと願う次第です。

佐藤尚武

(順天堂東京江東高齢者医療センター臨床検査科)